

平成30年度 第1回恵庭市社会福祉審議会

高齢者福祉・介護保険専門部会 会議録

1. 開催日時 平成30年7月11日（水） 午後3時00分～4時00分

2. 開催場所 恵庭市役所 3階 301・302会議室

3. 出席者

【出席委員】 西根委員、渡邊委員、高畠委員、齊藤委員、村松委員
原田委員、関田委員・・・・（計7名）

【欠席委員】 島田委員、伊藤委員、米地委員

【傍聴者】 1名

【報道関係】 0名

【事務局】 保健福祉部長、保健福祉部次長、保健センター長、
介護福祉課長、介護福祉課主幹、
介護福祉課：指導担当主査・スタッフ、高齢者相談担当主査、
生きがい対策担当主査、介護認定担当主査、介護保険担当主査、
保健課：介護予防精神保健担当主査、健康推進担当主査
（計13名）

4. 内 容

（1）開会

（2）挨拶

（3）委員の変更

委員2名退任により、新委員として渡邊委員、齊藤委員が各団体から推薦された。

（4）報告事項

1. 平成29年度 介護保険事業の実施状況について
2. 平成30年度 介護保険事業の見込みについて
3. 平成30年度 認知症対応型共同生活介護事業者の公募について
4. その他

(5) 議事内容

1. 平成29年度 介護保険事業の実施状況について
 2. 平成30年度 介護保険事業の見込みについて
 3. 平成30年度 認知症対応型共同生活介護事業者の公募について
- 以上の3件について事務局より一括報告。

1. 平成29年度介護保険事業の実施状況

認定率が道内35市の中で1番低くなっている。これは、従来要支援1・2の認定者が介護予防・日常生活支援総合事業の事業対象者へ移行したことが大きな要因となっていると推察する。このほか、保険給付費や地域支援事業費の平成29年度の予算・決算の比較等について報告を行った。

2. 平成30年度 介護保険事業の見込み

平成30年度介護保険特別会計保険給付費等予算、地域支援事業費予算について報告を行った。

3. 平成30年度 認知症対応型共同生活介護事業者の公募

平成30年度から平成32年度までの3年間を計画期間とする第7期事業計画に基づく基盤整備として、認知症対応型共同生活介護を2ユニット×2ヵ所の公募を実施した。

2事業者より提出のあった応募書類の内容を踏まえ、書類審査、事業者プレゼン審査、ヒアリング審査による総合審査を行った結果、別紙資料のとおり事業予定者が選定された。

なお、今回応募のあった1事業者より辞退の申し出があったため、今回の公募は1事業者のみの選定としている。今回の応募事業者の辞退により、地域密着型サービス事業の追加公募も見込まれるところだが、今後サービスの開始時期などについて、十分に協議・検討しながら執り進めていく。

また、本部会は「地域密着型サービス運営委員会」も兼ねており、地域密着型サービスの指定にかかる審議を行う役割もある。このことから、今回の公募にかかる指定の審議についても、審議・承認をいただきたい。

【報告事項3について】

(部会長) 只今、事務局より説明のあった、平成30年度 認知症対応型共同生活介護事業者の選定について、意見等ありませんか。

なければ、承認されたことと致します。

4. その他

- (1) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護、特定施設入居者生活介護の公募
 - (2) 認知症初期集中支援チームの設立
 - (3) 第2層生活支援コーディネーター
 - (4) 福祉除雪（ひとり暮らし高齢者世帯等冬季除雪サービス事業における受益者負担の導入）
 - (5) 恵庭市介護予防・日常生活支援総合事業指定第1号事業者の指定
 - (6) 指定介護予防支援の一部委託
- 以上について、資料に基づき報告した。

【質疑応答】なし。

(6) 閉会

（部会長）他に意見等がないため、これにて閉会とする。

以上